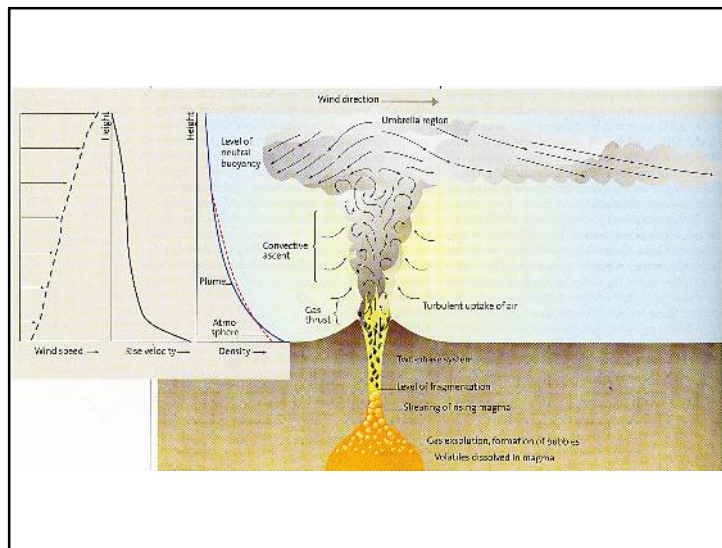
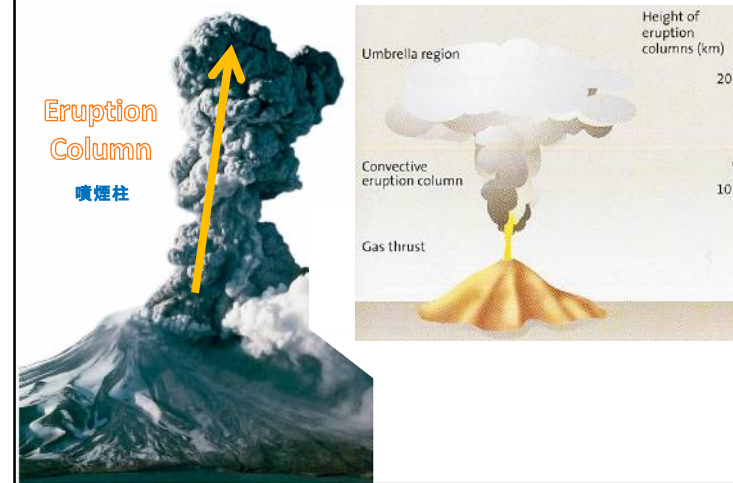


地学概論A:第13回 火山(後編)

1. 火山灰による被害
2. 火砕流と火砕サージ
3. 二次災害:ラハール
4. 崖崩れと土石流(火山地帯で被害顕著)
5. 変動期における火山噴火
6. 地質時代の噴火は歴史時代～現代の噴火より桁違いに大きい

火山噴火に伴う噴出物



降下性火山灰

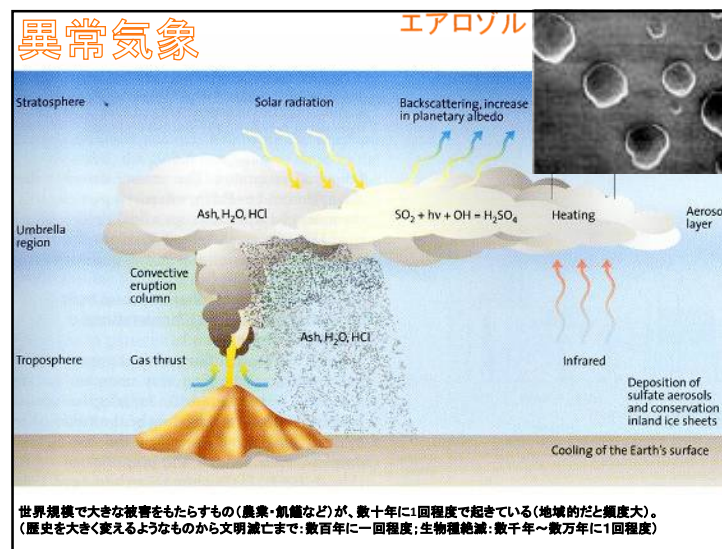
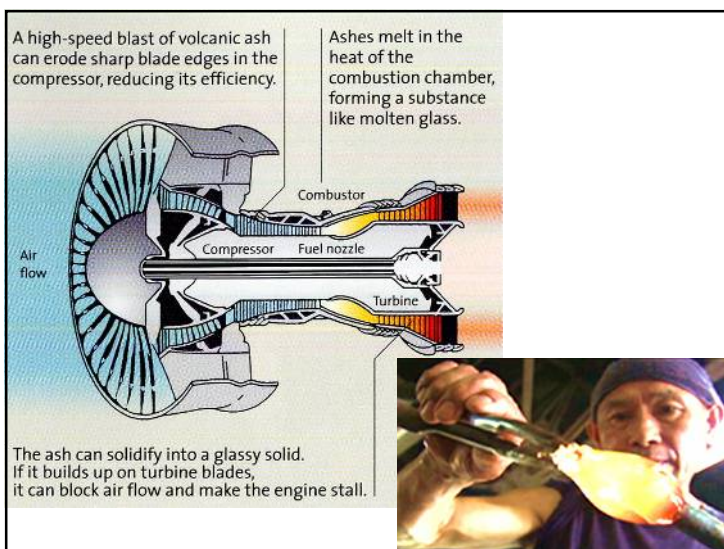
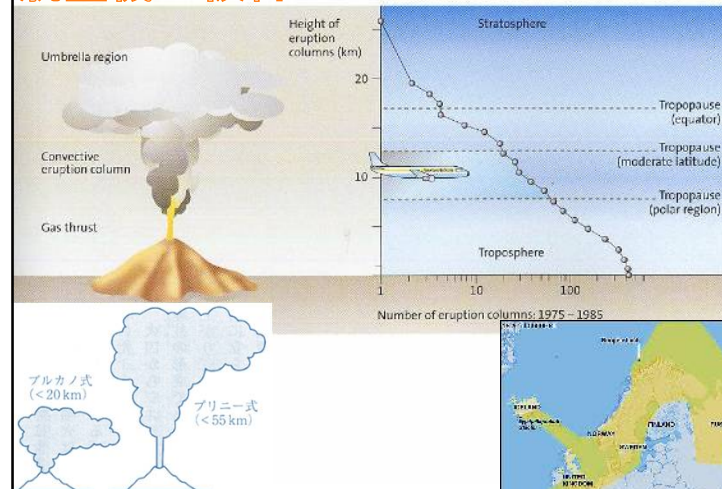




飲料水の汚染



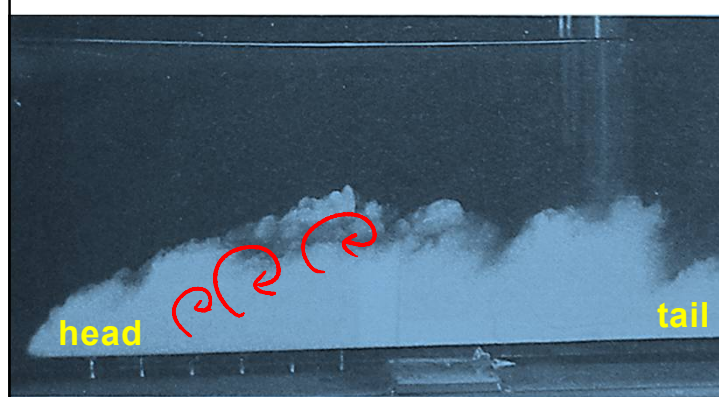
航空機の被害



火砕流 (Pyroclastic Flow)



水槽で再現した深海の混濁流・乱泥流 (堆積物はタービダイトと呼ぶ)



Slopeの角度が大きく、滑降距離の長いほどしやすい。

マルティニーク島



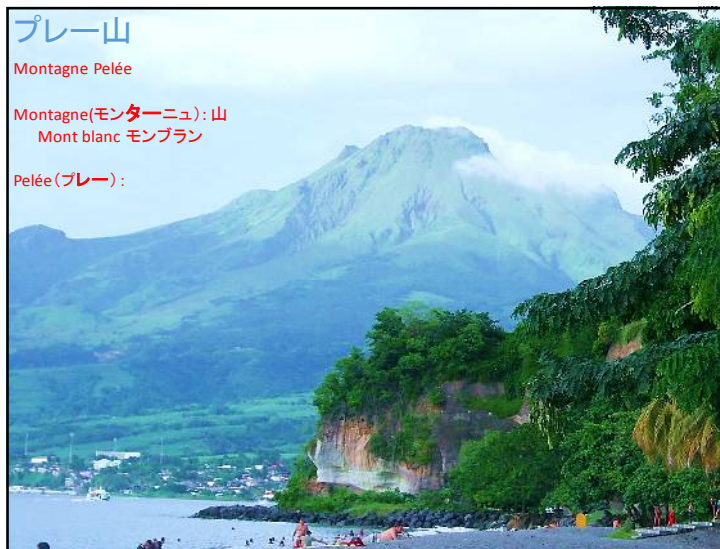
プレー山

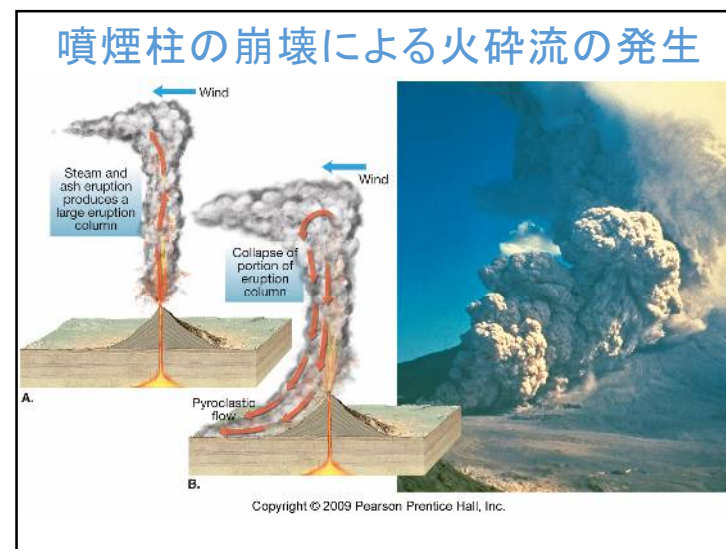
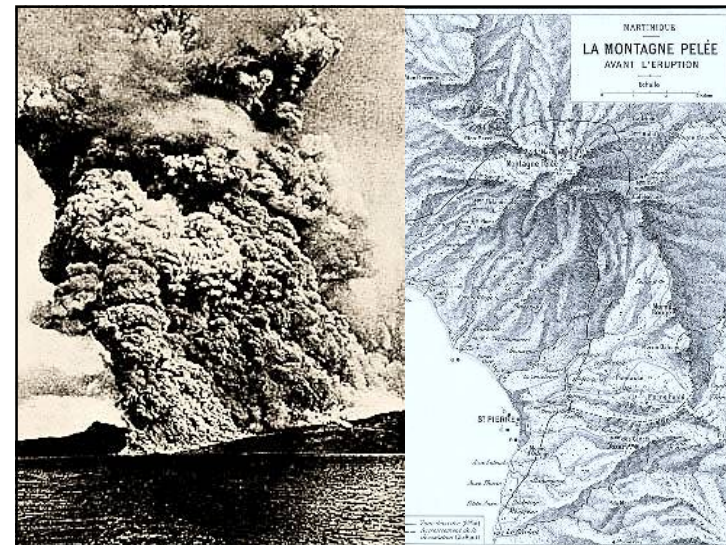
プレー山

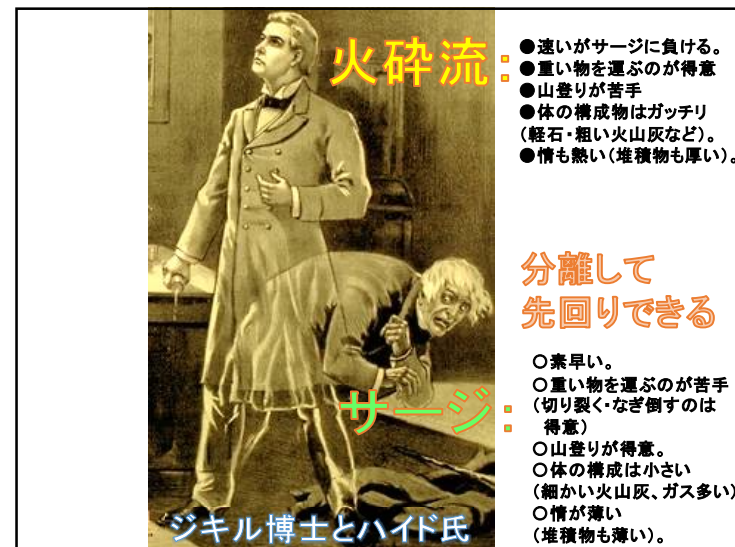
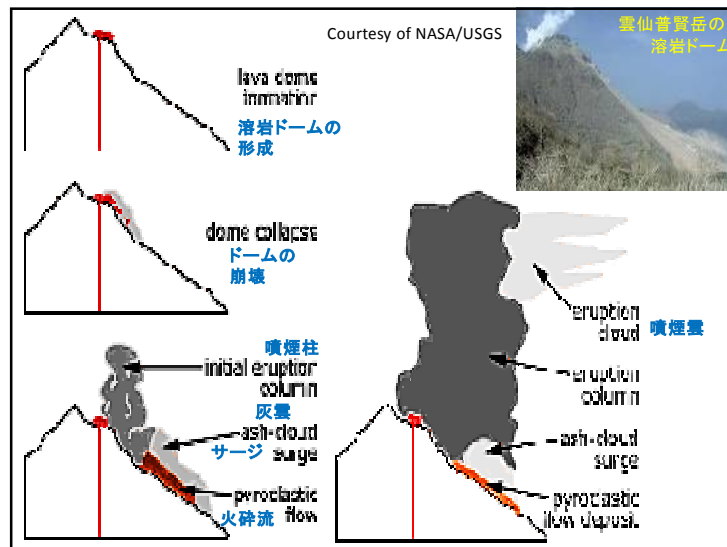
Montagne Pelée

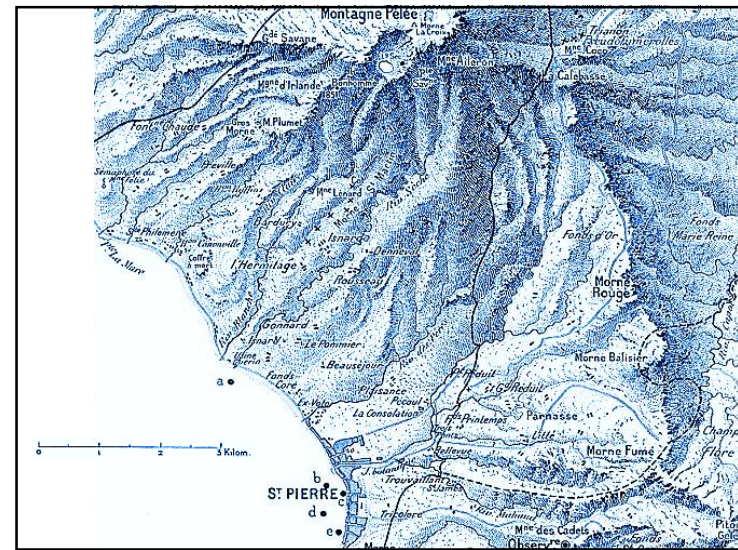
Montagne(モンターニュ): 山
Mont blanc モンブラン

Pelée(プレー):









Pompeii



二次災害: 土石流など

雨が降るとがけ崩れしやすくなるが、

火山性の土地(地層や噴火による堆積物)に含まれる細粒(泥)の部分は悪質の粘土鉱物(吸水による膨張率が高い粘土鉱物)を含んでおり、地盤が不安定である。

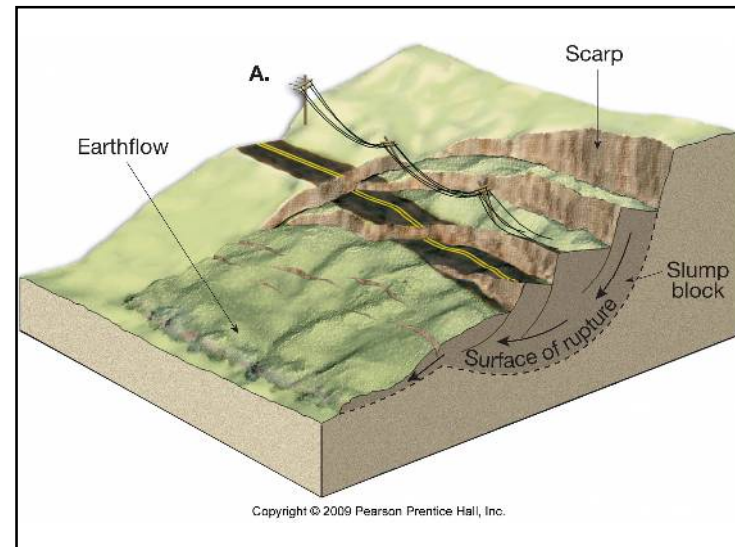
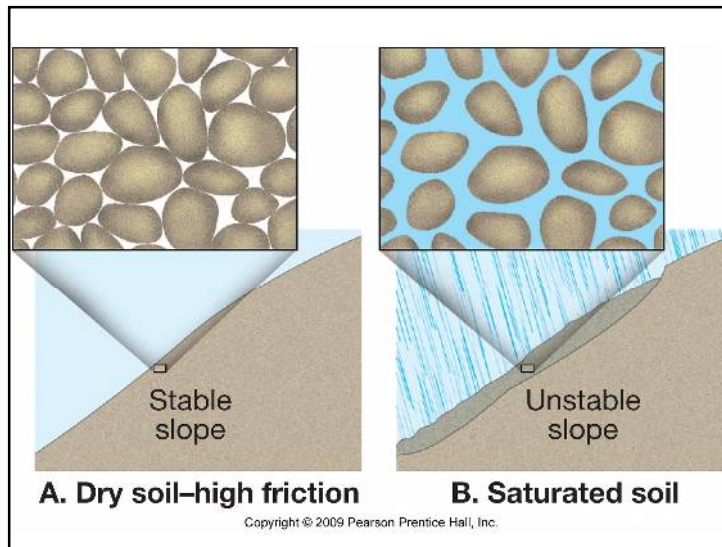
Lahar ラハール (Wiki)

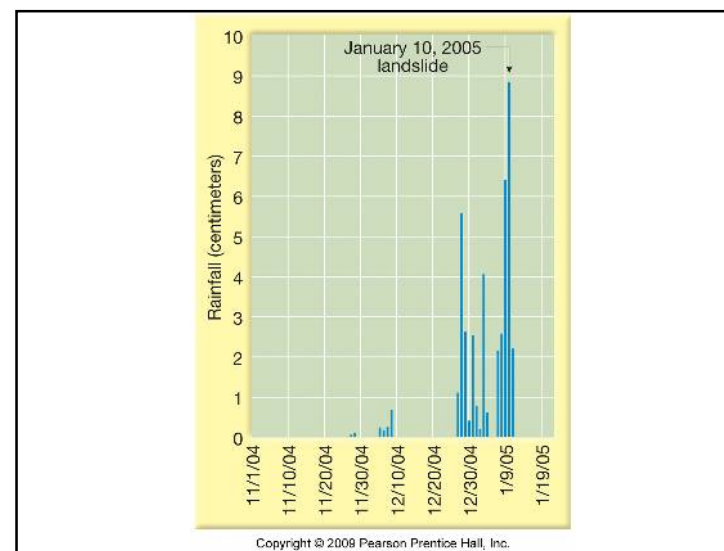
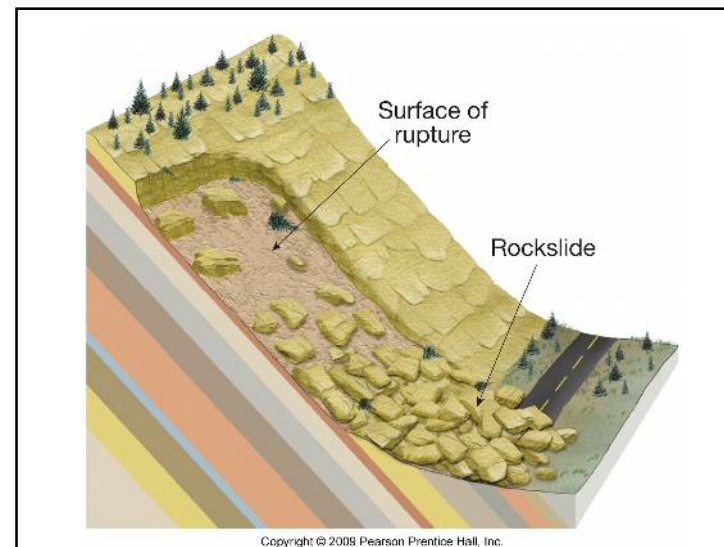
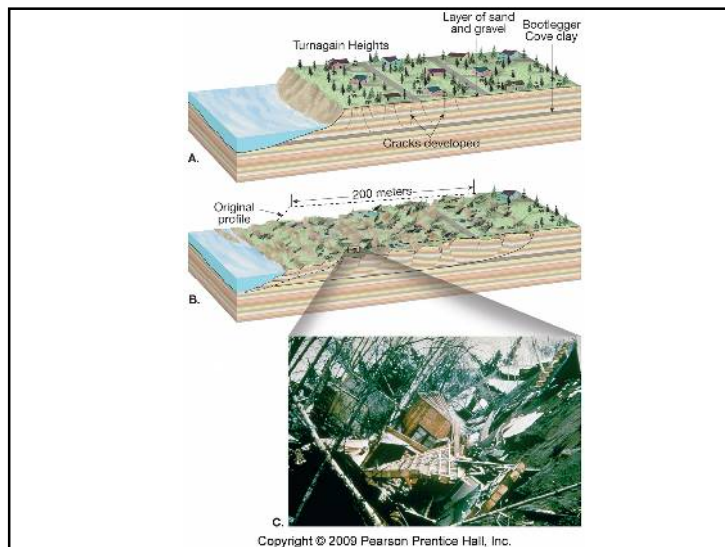
- ラハール(インドネシア語: lahar)とは、火山噴火の際に大量の水分を含んだ火山灰などの噴出物が山の斜面を流れ下る現象である。火山泥流(かざんでいりゅう、英: volcanic mud flow)とも呼ばれる。
- 火山の山頂部が雪や氷河に覆われていた時に噴火が起こり、その高熱によって雪や氷河が融解した際に発生する(火口湖の水で満たされている時も同様)。大量の水分を含んでいる為に流下スピードは極めて速く、時速100kmを超えることもある。
- また、大量の火山灰が周辺に降り積もった後に豪雨などで流下する場合(1953年の阿蘇山、2013年の伊豆大島ほか事例多数)もラハールと呼ぶ(日本では土石流と呼んでいる)。

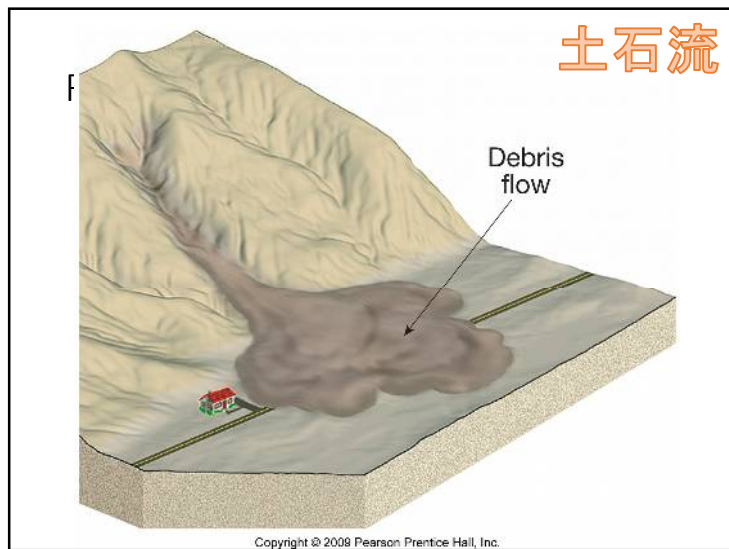
Lahar(火砕物起源の土石流)

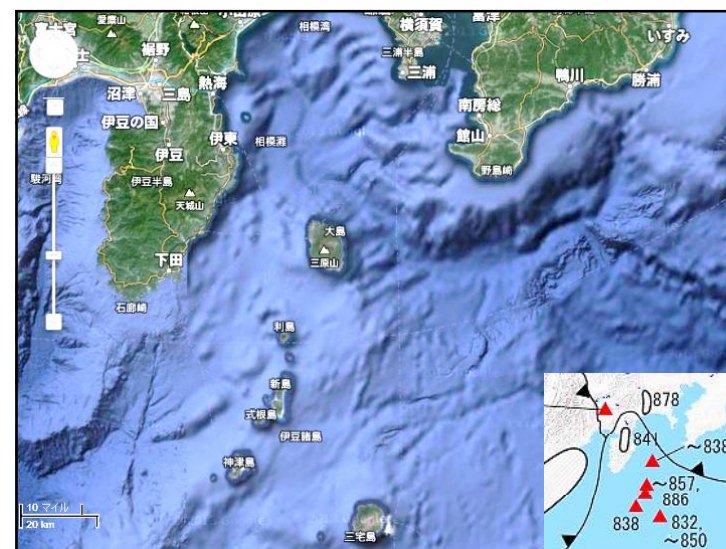
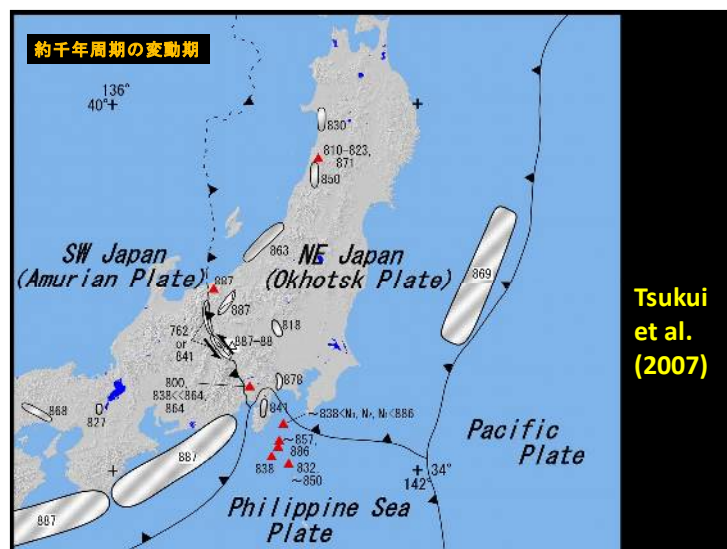


Unzen (June 1991)











MegaQuake II

NHK オンディアモンド

<p>特選</p> <p>NHKスペシャル MEGA Q UAKEI II 巨大地震 第1回 いま日本の地下で何が起きているの…</p> <p>配信期間：2013年4月3日 ✓</p>	<p>特選</p> <p>NHKスペシャル MEGA Q UAKEI II 巨大地震 第2回 津波はどこまで巨大化するのか</p> <p>配信期間：2013年4月3日 ✓</p>	<p>見逃し</p> <p>NHKスペシャル MEGA Q UAKEI II 巨大地震 第3回 “大変動期”最悪のシナリオに備え…</p> <p>視聴期間：購入後1日0時間 購入期限：本日を含めあと3日 公開終了：2012年6月24日 ✓</p>
---	--	--

